

レイルヨーロッパ 2012年も飛躍的総売上を達成

2013年1月



レイルヨーロッパは2011年に続き、2012年の業績も歴史的な売上達成という快挙を成し遂げました。2012年は総売上16%増で、ついに2億ユーロに達し、260万人にのぼる旅行者がレイルヨーロッパのチケットとパスを利用しました。これは、世界最大の列車チケットとレイルパスの販売網ならではの数字と言えるでしょう。

「当社が達成した2012年の業績は素晴らしいと思います。この総売上は当初の予測をはるかに超え、3年間に2倍となりました。」と、レイルヨーロッパCEOのピエール-ステファン・オスティはコメントしています。また、「世界的に困難な経済状況の中、当社は再び二桁の売上増を達成し、鉄道業界全体の発展に貢献しつつ業界におけるリーダーシップを発揮することができたことを嬉しく思います。」と結んでいます。

日本における売り上げは、驚異的な20%増を達成しました。予想を超える嬉しい驚きを与えてくれた日本は、アジア、オーストラリア、ニュージーランド、中近東、南アメリカにおける50カ国以上の市場において第2位です。日本は優れたプロフェッショナルのパートナーとのネットワークが確立されており、各パートナーの強力な販売活動により、レイルヨーロッパを利用した鉄道旅行者は今後さらに拡大していくでしょう。

2012年 主要な成果

- ▶ レイルヨーロッパの国際販売網の主要パートナーが全世界から集結するイベント「RIDE 2012」をパリで開催。2日間の当イベントには、250名を超える鉄道業界のプロフェッショナル（鉄道会社、販売総代理店、観光局）が参加しました。
- ▶ とっておきのヨーロッパの鉄道旅行プランを紹介する「レイルヨーロッパ・コネクション (Rail Europe Connexion)」マガジンを発行。世界20カ国、200万人のトラベラーが活用しました。
- ▶ イタリアの新旅客輸送会社、NTVが新高速列車イタロの運行を開始。レイルヨーロッパがNTV自社以外の販売ルートとして世界で唯一NTVのチケットの販売契約を結んだことにより、イタリアの鉄道旅行がさらに便利になりました。



レイルヨーロッパは、年々高まる鉄道旅行の人気から恩恵を受けているというよりも、鉄道旅行の人気を仕掛けたと言えるでしょう。系統だった戦略により、レイルヨーロッパは販売ルート（代理店経由とダイレクトブッキング）、顧客区分（グループと個人客）、鉄道商品（パスとチケット）すべてに渡り、ヨーロッパ圏内、圏外共に拡大をはかることができました。

2013年もレイルヨーロッパはこの戦略を強化し、現在、豊富にご用意している鉄道商品のラインナップにさらに新商品を導入、意欲的なパートナーシップとプロモーション、革新的な販売ルート情報システム、そして急成長している市場だけでなく、既に成熟した市場へもすべて同様に手厚いサポートを提供してまいります。

2013年もトレニタリア（イタリア鉄道）とドイチェ・バーン（ドイツ鉄道）と予約システムの直接連携を継続します。旅行代理店やレイルヨーロッパのお客さまがイタリアやドイツ国外でもチケットを購入できるだけでなく、列車の空席状況や料金（最も割引率の高いチケットを含む）、各種プロモーションをリアルタイムで確認、さらにEチケット機能も利用できることにより、2013年の総売上も大幅な増加が見込めるでしょう。

レイルヨーロッパは世界最大の鉄道チケットとレイルパスの流通販売網を持ち、世界主要都市に有する総代理店を通して販売を行っています。また、公式サイトではオンライン販売を各地域の言語、通貨で行うなど、地域に根ざしたサービスを提供しています。レイルヨーロッパの鉄道商品にはユーレイルパス、スイスパスを始めとするレイルパスや、SBB（スイス）、SNCF（フランス）、トレニタリアとNTV（イタリア）、DB（ドイツ）、ATOC（英国）、ユーロスター、タリス、TGV リリア、アムトラック（USA）、JR（日本）などのチケットがあります。商品に関する詳細、鉄道チケットやレイルパスに関するお問い合わせは、レイルヨーロッパの商品を取り扱う旅行代理店までご連絡ください。また予約、購入に関する詳細は、レイルヨーロッパ ジャパンのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.raileurope.jp>

